

平成29年12月1日  
九州地方整備局  
大隅河川国道事務所

## 東九州自動車道 志布志<sup>しぶし</sup>～鹿屋串良<sup>かのやくしら</sup>間が 平成32年度までに開通

○東九州自動車道 志布志<sup>しぶし</sup>～末吉財部<sup>すえよしたからべ</sup>は、九州の高速道路ネットワークの一部を形成することにより、東九州地域へのアクセス性の強化や、物流の効率化による地域産業活性化の支援等に寄与する道路です。

○この度、志布志<sup>しぶし</sup>～鹿屋串良<sup>かのやくしら</sup>（延長19.2km）間において、開通に向けた用地協議が完了し、円滑な事業実施環境が整ったため、平成32年度までに開通できる見通しとなりました。

○今後、橋梁工事や改良工事を進めていく予定です。引き続き、一日も早い開通に向け、全力で取り組んで参ります。

### ※期待できる主なストック効果

○当該区間の開通によって、志布志港<sup>しぶしこう</sup>との輸送ルートが形成されることにより、畜産業等の地域産業の更なる活性化が期待されます。

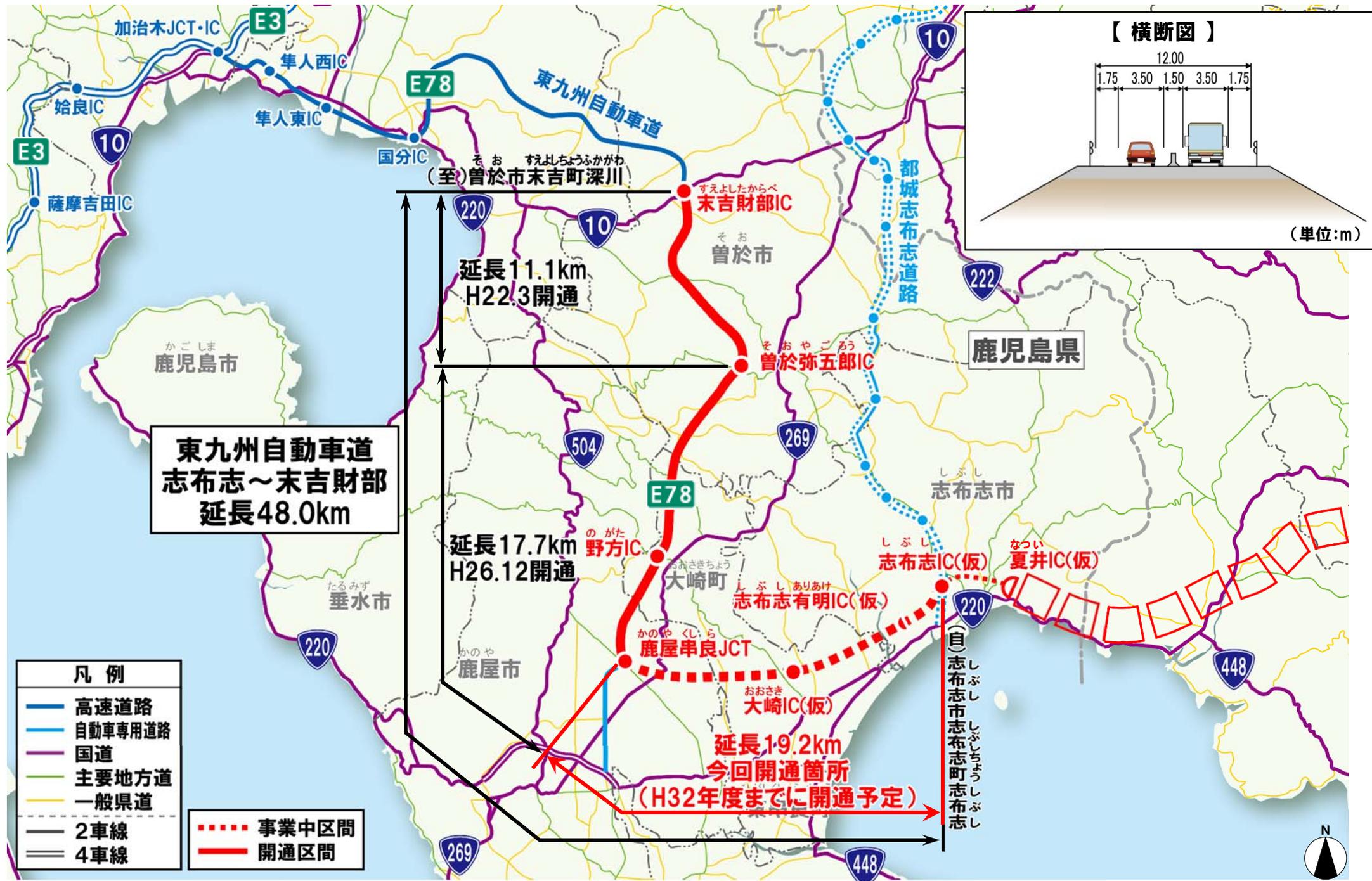
問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局 大隅河川国道事務所

副所長(道路) 松尾 誠二<sup>まつお せいじ</sup> TEL：0994-65-2541(代表)

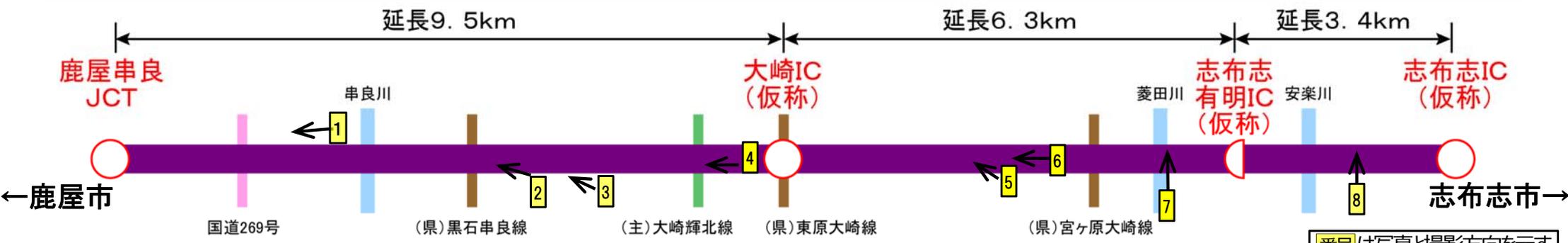
調査第三課長 小柳 誠<sup>こやなぎ まこと</sup> TEL：0994-65-2995(調査第三課 直通)

# 東九州自動車道(志布志～末吉財部)



# 東九州自動車道(志布志～末吉財部) 志布志～鹿屋串良間

# 工事進捗状況



番号は写真と撮影方向を示す  
写真は平成29年11月撮影

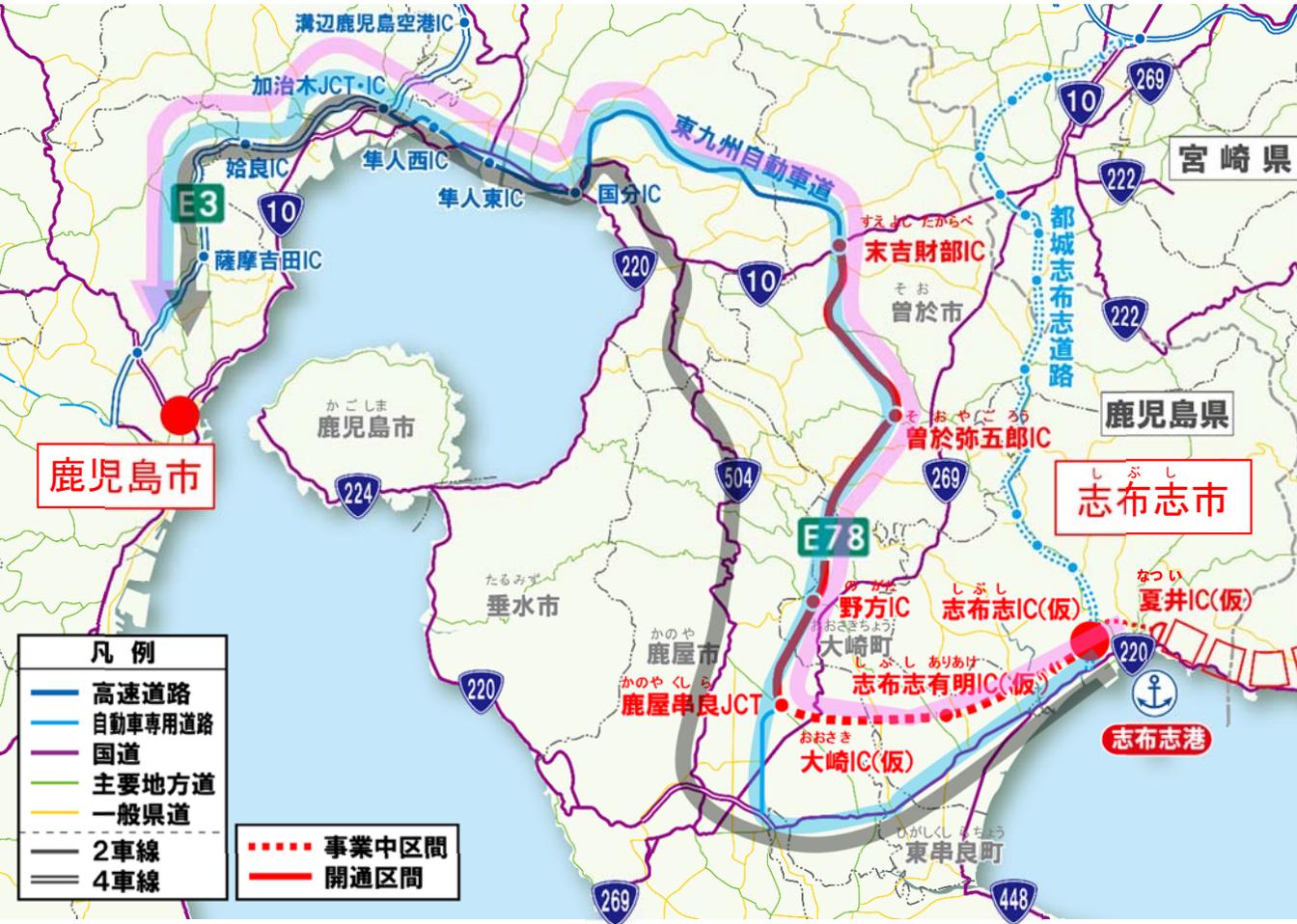
### 大崎IC(仮称)～鹿屋串良JCT間 進捗状況

### 志布志IC(仮称)～大崎IC(仮称)間 進捗状況

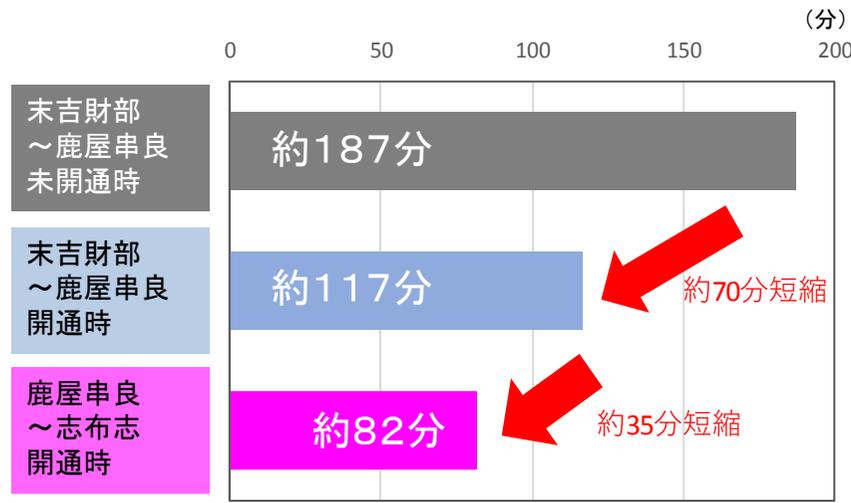


# 事業効果：広域交通ネットワークの形成

- 東九州道(志布志～末吉財部)の開通により、志布志港等の交通拠点と大隅地域の広域交通ネットワークが形成され、時間短縮によるアクセス性が向上。
- 既に通している鹿屋串良から末吉財部(延長28.8km)において、志布志市内から鹿児島市内で約70分の時間短縮が確認されており、今回、志布志から鹿屋串良間の開通に伴い、さらに約35分の短縮が見込まれる。



鹿児島市 (鹿児島中央駅) ←→ 志布志市 (志布志港)



▲所要時間の変化

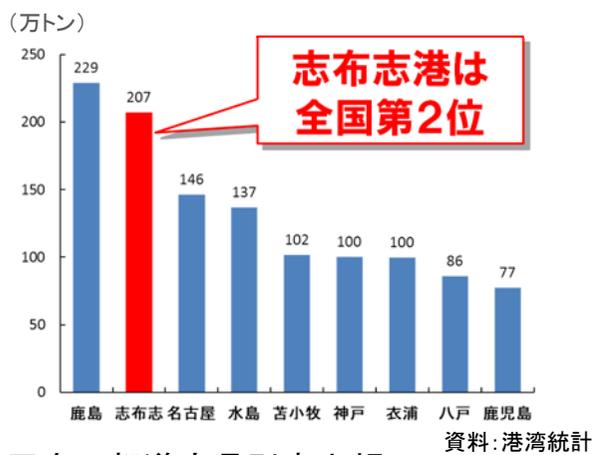
※所要時間算出時の速度は以下のとおり  
 ・供用中の道路：平成27年度全国道路・街路交通情勢調査の混雑時旅行速度  
 ・東九州道事業中区分：開通後に想定される規制速度

# 事業効果：地域産業活性化の支援

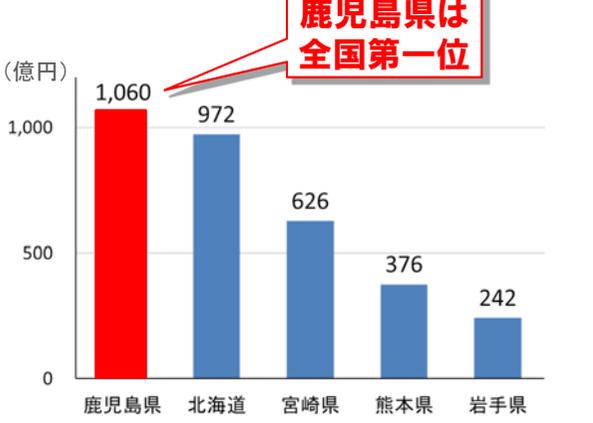
- 志布志港は配合飼料の原料となるとうもろこしの輸入量が全国第2位であり、志布志港周辺の飼料工場で加工された配合飼料は全国有数の畜産地域である肝属地域等に輸送されており、地域の畜産を支援している。
- 志布志～鹿屋串良の開通に伴い、志布志港から肝属地域やその他の地域への輸送ネットワークが形成されることで、輸送時間の短縮、輸送コスト縮減により畜産の活性化を支援。

## 志布志港からの輸送ネットワークの形成

■ 港湾別のとうもろこし輸入量(H27)



■ 肉用牛の都道府県別産出額



■ 配合飼料の輸送先と畜産農家戸数



< 配合飼料の輸送状況 >



配合飼料会社の声

- 志布志港で加工された配合飼料は、主に国道220号を利用して肝属地域等に輸送している。
- 1日に3～4往復する場合もあるが、東九州道が開通することで、輸送時間が短縮され、輸送コストの縮減につながることを期待している。

資料：配合飼料…志布志市(H27)、農家戸数…2015世界農林業センサス

